

## 平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月30日

上場会社名 キリンホールディングス株式会社

上場取引所 東・名・札・福

コード番号 2503

URL <http://www.kirinholdings.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三宅 占二

問合せ先責任者(役職名) グループコーポレートコミュニケーション担当  
ディレクター

(氏名) 藤原 哲也 (TEL) 03-6837-7015

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	528,730	1.5	30,048	24.4	28,597	21.7	11,102	△79.6
25年12月期第1四半期	520,663	4.7	24,154	△4.6	23,488	22.3	54,309	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 29,232百万円(△79.9%) 25年12月期第1四半期 145,431百万円(95.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	11.95	11.90
25年12月期第1四半期	56.51	56.45

(参考) 平準化EBITDA 26年12月期第1四半期 664億円(13.9%) 25年12月期第1四半期 583億円(△6.6%)

平準化EPS 26年12月期第1四半期 30円(50.0%) 25年12月期第1四半期 20円(53.8%)

両指標の定義、計算方法等の詳細は、「経営成績に関する説明」2ページをご覧ください。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	2,821,204	1,309,010	38.5
25年12月期	2,896,456	1,300,726	37.1

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 1,085,396百万円 25年12月期 1,075,861百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	18.00	—	18.00	36.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(参考) 平準化EPSに基づく配当性向(連結) 26年12月期(予想) 29.5%

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,100,000	0.3	47,000	△22.2	—	—	—	—	—
通期	2,290,000	1.6	140,000	△2.0	122,000	△7.7	49,000	△42.8	52.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) 平準化EBITDA 26年12月期通期(予想) 3,020億円(0.2%)

平準化EPS 26年12月期通期(予想) 129円(5.7%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期1Q	965,000,000株	25年12月期	965,000,000株	
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	35,688,239株	25年12月期	35,659,435株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	929,321,398株	25年12月期1Q	961,121,262株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社および当グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社および当グループの事業をとりまく経済情勢、市場動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おきください。

(2) 決算補足説明資料は本日4月30日(水)に、また、5月1日(木)開催の決算説明会(電話会議)における資料・主な質疑応答については速やかに、当社ホームページに掲載いたします。

(当社ホームページURL)

<http://www.kirinholdings.co.jp/irinfo/event/explain/index.html>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(追加情報) .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期（平成26年1月1日～平成26年3月31日）における世界経済は、米国の個人消費が堅調に推移したほか、欧州経済は長期低迷から持ち直しへと転じつつあり、中国も減速感をもちつつも成長を続けるなど、全体としては緩やかな回復が続きました。

このような世界経済のもと、わが国経済は、企業収益が改善するなかで設備投資が持ち直すとともに、個人消費も底堅く推移し、緩やかな回復が続き、消費税率引き上げ前の駆け込み需要も見られました。

キリングroupは、長期経営構想「キリン・グループ・ビジョン2021」（略称：KV2021）実現に向けた最初のステージである「キリングroup2013年－2015年中期経営計画」の2年目として、引き続きキリングroupの「ブランドを基軸とした経営」を展開しながら、各地域統括会社が市場環境に応じた自律的な経営を行いました。

当第1四半期の連結売上高は、キリン協和フーズ㈱（現MCフードスペシャリティーズ㈱、以下同じ）が連結対象外となったこと等の影響はありましたが、日本総合飲料事業における販売数量の増加等により、前年を上回りました。これに加え、ライオン社酒類事業の営業利益が増加したこと等により、連結営業利益は増加し、連結経常利益も増加しました。連結四半期純利益については、多額の投資有価証券売却益等を計上した前年同期に比べ、大幅に減少しました。

連結売上高	5,287億円（前年同期比	1.5%増）
連結営業利益	300億円（前年同期比	24.4%増）
連結経常利益	285億円（前年同期比	21.7%増）
連結第1四半期純利益	111億円（前年同期比	79.6%減）
（参考）		
平準化EBITDA ※	664億円（前年同期比	13.9%増）
平準化EPS ※	30円（前年同期比	50.0%増）

※ 平準化：特別損益等の非経常項目を除外し、より実質的な収益力を反映させるための調整

平準化EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 持分法適用関連会社からの受取配当金

平準化EPS = 平準化四半期純利益 / 期中平均株式数

平準化四半期純利益 = 四半期純利益 + のれん等償却額 ± 税金等調整後特別損益

なお、平準化EBITDAは億円未満切捨てで表示しており、平準化EPSは円未満四捨五入により算出しております。

なお、株主還元の更なる充実を図るため、取得株式総数の上限を約1,735万株、取得価額の総額を約213億円とする自己株式の取得を3月に開始しました。これは、当社大株主から、その保有する当社普通株式の一部を売却する意向がある旨の連絡を受け、その他の株主も平等に応募できる公開買付けの手法をとることにより、自己株式を取得することが、資本効率の向上に寄与すると判断し、実施したものです。

また、個人投資家による投資機会の拡大及び株式の一層の流動性向上のため、4月1日より単元株式数を1,000株から100株に変更することを、2月13日開催の取締役会で決議しました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

〈日本総合飲料事業〉

4月に消費増税を控えた第1四半期は、生産・物流を始めとした駆け込み需要への対応を行うとともに、各社のフラッグシップブランドを中心としたブランド強化に取り組みました。

キリンビール㈱では、一番搾り麦汁だけを使ったビールである「キリン一番搾り生ビール」の製法へのこだわりや贅沢さを、広告や全国の量販店などでのブランドセミナーを通して訴求しました。また、その他のビール類主力ブランドである発泡酒「淡麗グリーンラベル」及び新ジャンル「キリンのどごしく生」それぞれの味覚に更に磨きをかけるリニューアルを行い、プレゼンスの向上に努めました。RTD※1では、「キリン氷結」、「キリン本搾り<sub>TM</sub>チューハイ」の販売が好調に推移したほか、業務用市場において昨年より首都圏の飲食店約400店舗で展開し好評を得ている「KIRIN Hard Cidre (キリンハードシードル)」※2を、3月中旬以降全国展開しました。

メルシャン㈱では、1月に、フラッグシップブランドである「シャトー・メルシャン」の魅力を発信するコンセプトショップ「Château Mercian Tokyo Guest Bar (シャトー・メルシャン トーキョー・ゲスト・バル)」を六本木にオープンし、当初予定を上回る来店者数を記録しました。また、注力商品「フレンジア」、「メルシャンエブリィ」、「おいしい酸化防止剤無添加ワイン」、「フロンテラ」などのリニューアルや容器拡充等を行い、ブランド強化を図りました。

キリンビバレッジ㈱では、定番ブランドを対象に「サッカー日本代表応援キャンペーン」を実施し、サッカーデザインラベルを幅広く展開したことや、再生ペット素材100%からつくるリサイクルペットボトルを導入した「キリン午後の紅茶 おいしい無糖」のリニューアルを行ったこと等により、「キリン午後の紅茶」、「キリンファイア」、「キリン生茶」などの販売が好調に推移し、清涼飲料全体の販売数量も前年を上回りました。

中長期的な視点での持続的な成長に向けた取組みとしては、インターネットを活用したお客様との双方向コミュニケーション等を推進するため、キリン㈱にデジタルマーケティング室を設置したほか、キリン㈱へ一本化した新卒採用活動を進めるなど、組織能力の強化を図りました。

これらの結果、売上高は、各社の販売数量の増加等により増加し、営業利益も増加しました。

※1 RTD：栓を開けてそのまま飲める低アルコール飲料でReady to Drinkの略です。

※2 シードル：りんごを発酵させてつくる醸造酒で、発泡性のものが主流です。

日本総合飲料事業連結売上高	2,487億円 (前年同期比	6.0%増 )
日本総合飲料事業連結営業利益	27億円 (前年同期比	— )

〈海外総合飲料事業〉

豪州経済は、全体としては緩やかな回復傾向となりましたが、雇用情勢はいまだ弱含みであり、個人消費、小売業の競争環境も引き続き厳しいものとなりました。

ライオン社酒類事業では、豪州におけるビール最需要期において、基盤ブランドの強化及び成長カテゴリーの販売強化を進めました。主力ブランド「フォーエックス・ゴールド」の販売数量が前年を上回ったほか、「ジェームス・スクワイア」、「リトル・クリーチャーズ」などのクラフトビールの販売が好調に推移しました。一方、同社飲料事業では、成長カテゴリーである「デア」などの乳飲料の販売数量は引き続き前年を上回りましたが、消費者の低価格志向を始めとする厳しい市場環境が続き、飲料事業全体の販売数量は前年を下回りました。

ブラジル経済は成長のペースが引き続き緩やかに推移し、酒類・飲料市場も引き続き厳しい競争環境が続きました。

ブラジルキリン社では、戦略的ブランド投資によるビール「スキン」のプレゼンス最大化に努めまし

た。ブラジル全土における顧客接点拡大を引き続き進めるとともに、一年の中でもビールの需要が高まる第1四半期において、地盤である北東部での販売増に取り組みました。また、「キリン一番搾り (KIRIN ICHIBAN)」の製造を開始し、3月より現地の飲食店や量販店で販売を開始しました。清涼飲料では、炭酸飲料の基盤ブランド「スキン」のブランド強化を図りました。酒類・飲料双方でのプレゼンス向上を目指すとともに、調達プロセスの改善やバリューチェーン全体での効率化を引き続き進めました。

これらの結果、オセアニア総合飲料事業においては、為替の影響もあり売上高が増加し、豪州酒類事業の増益により、全体の営業利益は大幅に増加しました。海外その他総合飲料事業においては、売上高は増加し、営業損失も減少しました。

オセアニア総合飲料事業連結売上高	1,346億円 (前年同期比	5.5%増 )
オセアニア総合飲料事業連結営業利益	149億円 (前年同期比	31.5%増 )
海外その他総合飲料事業連結売上高	558億円 (前年同期比	7.1%増 )
海外その他総合飲料事業連結営業損失	△2億円 (前年同期比	— )

#### <医薬・バイオケミカル事業>

医薬事業では、協和発酵キリン㈱の国内医薬品において、主力製品である腎性貧血治療剤「ネスプ」は堅調に推移し、2012年12月発売の液量統一品の出荷反動による売上減少のあった前年同期に比べて、売上高が増加しました。一方、抗アレルギー剤「アレロック」及び抗アレルギー点眼剤「パタノール」は、花粉飛散量の減少などにより、売上高は前年を下回りました。医薬品の輸出及び技術収入では、輸出は堅調に推移したものの、技術収入等が減少し、売上高は減少しました。海外では、プロストラカン社の主力製品が順調に伸張し、売上高が前年を上回りました。

バイオケミカル事業では、協和発酵バイオ㈱において、医薬用アミノ酸その他医薬品原薬等の販売が堅調に推移し、ヘルスケア領域では、「オルニチン」をはじめとする通信販売事業が順調に伸張しました。また、海外の売上高は、円安の影響もあり、前年を上回りました。

これらの結果、バイオケミカル事業の売上高は増加しましたが、医薬事業の売上高が減少したことにより、医薬・バイオケミカル事業全体としては、売上高、営業利益ともに減少しました。

医薬・バイオケミカル事業連結売上高	839億円 (前年同期比	0.9%減 )
医薬・バイオケミカル事業連結営業利益	131億円 (前年同期比	13.4%減 )

#### <その他事業>

小岩井乳業㈱では、主要カテゴリーである発酵乳、プロセスチーズ等の家庭用乳製品が好調に推移し、販売数量が前年を上回りました。特に、発酵乳については、発売30周年を迎える「小岩井 生乳100%ヨーグルト」に資源を集中し、「小岩井 カラダへの贈りものプラズマ乳酸菌のむヨーグルト」とともに、販売数量が前年を大幅に上回りました。

その他事業全体としては、キリン協和フーズ㈱が連結対象外となったこと等により、売上高、営業利益ともに減少しました。

その他事業連結売上高	54億円 (前年同期比	74.7%減 )
------------	-------------	----------

その他事業連結営業利益 7億円(前年同期比 15.9%減)

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、商品及び製品、有形固定資産等が増加したものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金等の減少により、前連結会計年度末に比べ752億円減少して2兆8,212億円となりました。

負債は、有利子負債等が増加したものの、支払手形及び買掛金、未払法人税等、未払酒税(流動負債「その他」)等の減少により、前連結会計年度末に比べ835億円減少して1兆5,121億円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ82億円増加して1兆3,090億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績見通しについては、平成26年2月13日発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	113,759	63,914
受取手形及び売掛金	396,113	353,448
商品及び製品	136,494	145,235
仕掛品	34,488	38,192
原材料及び貯蔵品	54,063	53,794
その他	83,729	75,794
貸倒引当金	△3,860	△3,330
流動資産合計	814,788	727,048
固定資産		
有形固定資産	764,378	780,000
無形固定資産		
のれん	649,519	649,522
その他	187,417	188,606
無形固定資産合計	836,936	838,128
投資その他の資産		
投資有価証券	376,155	372,582
その他	109,487	108,715
貸倒引当金	△5,291	△5,272
投資その他の資産合計	480,351	476,026
固定資産合計	2,081,667	2,094,156
資産合計	2,896,456	2,821,204



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	155,863	137,515
短期借入金	118,410	91,127
コマーシャル・ペーパー	—	31,998
1年内償還予定の社債	30,000	59,998
未払法人税等	28,429	10,891
引当金	7,449	15,585
その他	319,745	261,916
流動負債合計	659,898	609,033
固定負債		
社債	259,454	231,379
長期借入金	383,213	409,169
退職給付引当金	62,461	45,432
訴訟損失引当金	30,711	31,088
その他の引当金	9,296	9,097
その他	190,693	176,993
固定負債合計	935,831	903,160
負債合計	1,595,729	1,512,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	102,045	102,045
資本剰余金	81,417	81,417
利益剰余金	850,511	844,886
自己株式	△53,903	△53,943
株主資本合計	980,071	974,405
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,506	36,740
繰延ヘッジ損益	128	89
土地再評価差額金	△2,581	△2,581
為替換算調整勘定	53,737	76,742
その他の包括利益累計額合計	95,790	110,990
新株予約権	306	277
少数株主持分	224,558	223,336
純資産合計	1,300,726	1,309,010
負債純資産合計	2,896,456	2,821,204

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	520,663	528,730
売上原価	297,742	302,053
売上総利益	222,920	226,676
販売費及び一般管理費	198,765	196,628
営業利益	24,154	30,048
営業外収益		
受取利息	1,104	930
受取配当金	253	218
持分法による投資利益	1,937	2,186
その他	3,023	2,639
営業外収益合計	6,317	5,973
営業外費用		
支払利息	5,600	4,979
その他	1,383	2,446
営業外費用合計	6,983	7,425
経常利益	23,488	28,597
特別利益		
固定資産売却益	12,240	324
投資有価証券売却益	46,923	69
保険金収入	—	308
その他	47	2
特別利益合計	59,211	703
特別損失		
固定資産除却損	689	469
固定資産売却損	616	153
投資有価証券売却損	0	21
事業構造改善費用	1,783	860
その他	1,673	506
特別損失合計	4,762	2,011
税金等調整前四半期純利益	77,937	27,289
法人税等	17,824	11,963
少数株主損益調整前四半期純利益	60,113	15,326
少数株主利益	5,803	4,223
四半期純利益	54,309	11,102

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	60,113	15,326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,789	△7,863
繰延ヘッジ損益	8,437	△39
為替換算調整勘定	90,519	17,244
持分法適用会社に対する持分相当額	10,149	4,564
その他の包括利益合計	85,317	13,906
四半期包括利益	145,431	29,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136,582	26,187
少数株主に係る四半期包括利益	8,848	3,045

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	総合飲料			医薬・バイ オケミカル			
	日本	オセアニア	海外その他				
売上高							
外部顧客への売上高	234,603	127,637	52,136	84,718	21,567	—	520,663
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,985	21	64	1,951	894	△4,916	—
計	236,588	127,658	52,200	86,669	22,461	△4,916	520,663
セグメント 利益又は損失 (△)	△1,167	11,348	△726	15,128	867	△1,295	24,154

(注) 1 「その他」の区分は、調味料・乳製品などの食品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,295百万円には、セグメント間取引消去743百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,038百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	総合飲料			医薬・バイ オケミカル			
	日本	オセアニア	海外その他				
売上高							
外部顧客への売上高	248,746	134,679	55,853	83,983	5,467	—	528,730
セグメント間の 内部売上高又は振替高	695	20	32	2,095	327	△3,171	—
計	249,441	134,699	55,886	86,079	5,794	△3,171	528,730
セグメント 利益又は損失 (△)	2,761	14,925	△279	13,108	729	△1,197	30,048

(注) 1 「その他」の区分は、乳製品などの食品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,197百万円には、セグメント間取引消去216百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,413百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

(追加情報)

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないこととなりました。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(連結納税制度の適用について)

当社及び一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

# 2014年第1四半期決算 補足説明資料

1. 連結損益計算書サマリー・指標等
2. 売上高明細
3. 利益増減明細
4. 連結貸借対照表サマリー
5. その他情報

キリンホールディングス株式会社  
2014年4月30日

1. 連結損益計算書サマリー・指標等

(1) 損益計算書サマリー・指標等

(単位：億円)

	2014年 第1四半期 (実績)	2013年 第1四半期 (実績)	対前年増減	
売上高	5,287	5,206	80	1.5%
売上総利益	2,266	2,229	37	1.7%
販売費及び一般管理費	1,966	1,987	△21	△1.1%
営業利益	300	241	58	24.4%
営業外収益	59	63	△3	△5.4%
営業外費用	74	69	4	6.3%
経常利益	285	234	51	21.7%
特別利益	7	592	△585	△98.8%
特別損失	20	47	△27	△57.8%
税金等調整前四半期純利益	272	779	△506	△65.0%
法人税等	119	178	△58	△32.9%
少数株主利益	42	58	△15	△27.2%
四半期純利益	111	543	△432	△79.6%
平準化EBITDA	664	583	81	13.9%
平準化EPS	30円	20円	10円	50.0%
売上高(酒税抜き)	4,634	4,601	32	0.7%
営業利益(のれん等償却前)	439	374	64	17.3%
営業利益率(対酒税抜き・のれん等償却前)	9.5%	8.1%		

平準化EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 持分法適用関連会社からの受取配当金

平準化EPS = 平準化四半期純利益 / 期中平均株式数

平準化四半期純利益 = 四半期純利益 + のれん等償却額 ± 税金等調整後特別損益

(2) 主要在外会社損益の為替換算レート及び取込期間

(単位：円)

	2014年 第1四半期 (実績)	2013年 第1四半期 (実績)
ライオン (豪ドル)	93.31	86.08
ブラジルキリン (ブラジルリアル)	43.86	46.47

	2014年第1四半期 (実績)	2013年第1四半期 (実績)
ライオン	2013年10月～2013年12月	2012年10月～2012年12月
サンミゲルビール		

2. 売上高明細

(単位：億円)

	2014年 第1四半期 (実績)	2013年 第1四半期 (実績)	対前年増減	
売上高	5,287	5,206	80	1.5%
日本総合飲料	2,487	2,346	141	6.0%
キリンビール ※	1,519	1,424	94	6.6%
キリンビバレッジ	722	699	22	3.3%
メルシャン	158	144	14	9.8%
その他・内部取引消去	87	77	9	12.7%
海外総合飲料	1,905	1,797	107	6.0%
ライオン	1,346	1,276	70	5.5%
ブラジルキリン	468	440	27	6.3%
その他・内部取引消去	89	80	9	11.6%
医薬・バイオケミカル	839	847	△7	△0.9%
協和発酵キリン	860	866	△5	△0.7%
医薬	628	670	△41	△6.2%
バイオケミカル	231	195	35	18.3%
その他・内部取引消去	△20	△19	△1	—
その他	54	215	△161	△74.7%

※ キリンビールとキリンビールマーケティングの合算値

<参考> 酒税売上高

(単位：億円)

	2014年 第1四半期 (実績)	2013年 第1四半期 (実績)
キリンビール	891	845



3. 利益増減明細

(1) 営業利益

(単位：億円)

	2014年 第1四半期 (実績)	2013年 第1四半期 (実績)	対前年増減
営業利益	300	241	58
日本総合飲料	27	△11	39
キリンビール ※	38	5	32
キリンビバレッジ ※	△37	△41	4
のれん償却額	△4	△4	—
計	△42	△46	4
メルシャン ※	△1	0	△2
その他	34	29	4
海外総合飲料	146	106	40
ライオン (連結組替後)	236	194	42
のれん償却額	△77	△70	△6
ブランド償却費	△10	△9	△0
計	149	113	35
ブラジルキリン (連結組替後)	16	13	3
のれん償却額	△13	△13	0
ブランド償却費	△7	△8	0
計	△3	△8	4
その他	0	0	△0
医薬・バイオケミカル	131	151	△20
協和発酵キリン (連結組替後)	131	151	△20
医薬	94	130	△36
バイオケミカル	30	14	15
その他・のれん償却額消去	21	21	0
のれん償却額	△15	△15	—
その他	7	8	△1
全社費用・セグメント間取引消去	△11	△12	0

※ 持株会社へのマネジメントフィ控除後

主な営業利益増減内容

(単位：億円)

会社名	要因	対前年増減	内容
キリンビール	酒類限界利益増	35	ビール販売数量増 8千kl 10億 発泡酒販売数量増 5千kl 5億 新ジャンル販売数量増 10千kl 12億 RTD販売数量増 10千kl 9億 品種構成による差異 他
	原材料コスト	0	麦芽コストアップ △2億、包材コストダウン 4億 他
	販売費増	△8	販売促進費・広告費増 △9億 他 (ビール・発泡酒・新ジャンル △10億、RTD △4億 他)
	その他費用減	5	減価償却費減 7億 他
計		32	
キリンビバレッジ	数量差異	28	販売数量増 264万ケース
	原材料等 コストアップ	△5	原料コストアップ △2億、包材コストダウン 1億 他
	容器構成差異等	△22	
	販売費増	△2	販売促進費・広告費増 △2億 他
	その他費用減	5	販売機器費減 3億 他
計		4	

主な営業費用

(単位：億円)

		2014年 第1四半期 (実績)	2013年 第1四半期 (実績)
販売促進費		459	400
広告費		253	280
キリンビール	販売促進費・広告費	211	202
キリンビバレッジ	販売促進費・広告費	267	265
研究開発費		124	130
協和発酵キリン (内部取引除く)		102	105

(2) 経常利益、四半期純利益

(単位：億円)

	2014年 第1四半期 (実績)	2013年 第1四半期 (実績)	対前年増減	増減内容
営業外損益	△14	△6	△7	現地持分損益 △9億 他 キリンアムジェン 20億 他
金融収支	△38	△42	4	
持分法による投資損益	21	19	2	
サンミゲルビール	20	31	△11	
その他	1	△12	14	
為替差損益	△5	6	△11	
その他	7	10	△2	
経常利益	285	234	51	
特別損益	△13	544	△557	
特別利益	7	592	△585	
固定資産売却益	3	122	△119	
投資有価証券売却益	0	469	△468	
保険金収入	3	—	3	
その他	0	0	△0	
特別損失	△20	△47	27	
固定資産除却損	△4	△6	2	
固定資産売却損	△1	△6	4	
投資有価証券売却損	△0	△0	△0	
事業構造改善費用	△8	△17	9	
その他	△5	△16	11	
法人税等	△119	△178	58	
少数株主利益	△42	△58	15	
四半期純利益	111	543	△432	

4. 連結貸借対照表サマリー

(単位：億円)

	2014年 第1四半期末	2013年 期末	増減額	増減内容
流動資産	7,270	8,147	△877	
現金及び預金	639	1,137	△498	
受取手形及び売掛金	3,534	3,961	△426	・前年度末が休日による減少 他
棚卸資産	2,372	2,250	121	
その他	724	798	△74	
固定資産	20,941	20,816	124	
有形固定資産	7,800	7,643	156	
無形固定資産	8,381	8,369	11	
のれん	6,495	6,495	0	
その他	1,886	1,874	11	
投資その他の資産	4,760	4,803	△43	
資産合計	28,212	28,964	△752	
流動負債	6,090	6,598	△508	
支払手形及び買掛金	1,375	1,558	△183	
有利子負債	1,831	1,484	347	・麒麟ホールディングスのCP発行による増加 他
その他	2,883	3,556	△672	・前年度末が休日による未払酒税の減少 他
固定負債	9,031	9,358	△326	
有利子負債	6,405	6,426	△21	
その他	2,626	2,931	△305	・退職給付引当金の減少 他
負債合計	15,121	15,957	△835	
株主資本	9,744	9,800	△56	
その他の包括利益累計額	1,109	957	151	
新株予約権	2	3	△0	
少数株主持分	2,233	2,245	△12	
純資産合計	13,090	13,007	82	
負債純資産合計	28,212	28,964	△752	

5. その他情報

(1) 主要な開示連結会社損益 (連結組替後)

2014年第1四半期実績

<連結子会社>

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
協和発酵キリン	860	123	120	62	32
のれん償却額消去		23	23	23	12
のれん償却額		△15	△15	△15	△15
連結取込計	860	131	128	69	29

<持分法適用関連会社>

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
サンミゲルビール	505	143	124	82	40
現地持分損益			40	40	40
ブランド償却費			△5	△5	△5
のれん償却額			△15	△15	△15
連結取込計			20	20	20

## (2) 主要事業会社 売上明細

## ① キリンビール

	2014年 第1四半期		2013年 第1四半期	
	実績	対前年増減	実績	対前年増減
売上数量	千KL	%	千KL	%
ビール	136	5.8	128	△2.5
発泡酒	114	4.6	109	△6.0
新ジャンル	146	7.8	136	△5.7
計	397	6.2	374	△4.7
RTD	54	20.7	44	2.5
ノンアルコール飲料	5	△19.8	7	△19.8
売上高	億円	%	億円	%
ビール	562	6.1	530	△2.3
発泡酒	349	4.6	333	△6.0
新ジャンル	386	7.9	358	△5.3
計	1,298	6.2	1,222	△4.2
RTD	147	20.2	123	3.1
洋酒・その他 ※	72	△7.5	78	△27.0
売上高計	1,519	6.6	1,424	△5.3

上記売上数量は輸出分を除く

※ グループ会社への清涼飲料売上高を含む

② キリンビバレッジグループ

<カテゴリー別販売実績 (連結)>

清涼飲料			2014年 第1四半期				2013年 第1四半期			
			実績	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
カテゴリー別	茶系飲料	日本茶	409	10	28	107	381	10	△47	89
		烏龍茶	34	1	△27	56	61	1	2	103
		紅茶	1,052	25	△9	99	1,061	27	87	109
		計	1,495	36	△8	99	1,503	38	42	103
	コーヒー飲料	806	19	120	117	686	18	△21	97	
	果実・野菜飲料	489	12	16	103	473	12	29	107	
	炭酸飲料	247	6	△27	90	274	7	132	193	
	水	745	18	79	112	666	17	△63	91	
その他	389	9	84	128	305	8	80	136		
国内市場清涼飲料計			4,171	100	264	107	3,907	100	199	105

<容器別販売実績 (連結)>

清涼飲料			2014年 第1四半期				2013年 第1四半期			
			実績	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
容器別	区分	内訳	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
缶容器	缶	ボトル缶を含む	793	19	△3	100	796	20	△132	86
PET容器	大型PET	2L	981	23	207	127	774	20	△45	95
		1.5L、1L、 900ml、750ml	323	8	3	101	320	8	21	107
		大型PET計	1,304	31	210	119	1,094	28	△24	98
	小型PET	500ml	984	24	△85	92	1,069	28	194	122
		350ml以下	661	16	144	128	517	13	113	128
		小型PET計	1,645	40	59	104	1,586	41	307	124
		PET計	2,949	71	269	110	2,680	69	283	112
その他容器	ワンウェイ・リターナブル壺、 紙、ギフト 他		429	10	△2	100	431	11	48	113
国内市場清涼飲料計			4,171	100	264	107	3,907	100	199	105